風水害への備え できていますか？

台風第19号接近時、マイ・タイムラインが役に立ちました。

馬宮地区自治会連合会会長
木下國臣さん

PROFILE

木下國臣さん（75）

二ツ宮南区自治会長、馬宮地区自治会連合会長、西区自治会連合会副会長。宮崎県出身で、昭和51年から西区馬宮在住。放送局、菓子メーカーを経て、西区で株式会社木下電機を創業。電気機械の制御や設計、施工を手掛ける。

西区馬宮地区は、令和元年東日本台風第19号で荒川の支流があふれたため、道路の冠水や家屋の浸水被害が出ました。馬宮地区自治会連合会長の木下國臣さんは、荒川の氾濫に備える啓発活動を始めた矢先の水害だったと振り返ります。災害というと、多くの人にとって真っ先に思い浮かぶのは、地震ではないでしょうか。しかし、市内には水害のリスクが高いエリアが多くあります。木下さんの話をヒントに、今日から風水害への備えを始めてみませんか。

避難の判断にマイ・タイムラインを

―水害への備えを始めたきっかけはなんですか。

昨年、豪雨の危険度を5段階の警戒レベルで表すようになったことです。これを知って水害対策に関心を深めたんです。さらに、市が住民一人ひとりの防災行動計画であるマイ・タイムラインを作ろうと呼び掛けたことにも背中を押されました。そこで、荒川の氾濫に備える馬宮版のマイ・タイムラインを作りました。これを使えば、どういう段階になったらどう行動すべきか簡単に分かるんじゃないかと思ったのです。昨年、台風第19号が来る1週間前までに、馬宮地区の全世帯に配付を終えていました。

台風第19号では、道路が冠水したり、家屋が浸水したりして、かつてない怖い思いをした方が多かったようです。想定よりも多く雨が降ったので、考えていたよりもずっと早く水位が上がって驚きました。地域の自主防災会長や自治会長と連絡を取り合って、荒川の水位を確認しながら、避難所の運営や住民への注意喚起をしていました。

水位が急上昇した10月12日は、特に若い方ほど、早い時間から避難していました。小さいお子さんのいる家は、水があふれて身動きが取れなくなったら

表紙・特集写真：黒崎健一　取材日：3月16日

いけないと特に心配されたのでしょう。夜遅くなってからは、夜間に避難するのは危ないので、自宅の2階に避難するように伝えました。また、2階に退避するときに、1階部分の電気のブレーカーは落としてくださいともお願いしました。浸水した後の漏電が心配だったので。

マイ・タイムラインを配った直後のことでしたから、事前にその存在を知っていた住民の多くは、マイ・タイムラインが役に立ったと言っています。今もことあるごとに活用をアピールしていますよ。

◀二ツ宮住宅集会所「みらい」にて被災当時を振り返る木下さん。台風第19号接近時は大集会室に市民が身を寄せ合ったそう。

◀氾濫危険水位を越えた荒川の様子

案外できていない心の準備

―台風第19号で感じた課題を教えてください。

大事なものを案外持ち出せていなかったことです。台風の後で、「避難するとき、何を持っていけばよかったのでしょう」とか「非常持ち出し袋を用意していたけれど、持っていくのを忘れた」といった話をよく聞きました。災害が本当に来るかもしれないという意識ができていなかったんですね。

私の地区では、特に配慮や支援が必要となる方の情報を、本人から同意を得て、自治会長である私と民生委員で共有しています。地区の一軒一軒の家族構成はもちろん、障害や持病、緊急連絡先などを把握し、緊急時に備えているのです。この情報は、これまで急病人が出たときに役立ててきました。災害時にも必要ですから、今後も継続しますし、他地区でもぜひ実践してもらいたいですね。

自治会に入って情報の入手を

―皆さんに防災のために伝えたいことはありますか。

まずは自治会に入ってほしいです。入っていないと、情報を伝えるすべがないので。災害時は、自治会長や自主防災会長からの指示に従っていただくのが重要です。とにかく情報を早めに得て、備えてほしいですね。

防災グッズを見直そう

家庭から持ち出す非常袋に入れておきたいオススメの防災グッズなどを、リストアップしています。

さいたま市　家庭での備え

木下さんに聞いた 日々の心掛けが大事です! 防災の心構え

「避難場所にたどり着けば大丈夫」と思っていませんか？
災害発生時の混乱のなかでは自分の力で問題を解決しなければならないこともあります。

「避難所に行けば、水や食料がある」は思い込み

意外とこう思っている人が多いようですが、そうとは限りません。必要最低限のものはやはり自分で持っていってほしいですね。防災用に、日頃から3日分の食料は備えておいてください。避難時には無理のない範囲で、当面の生活に必要なものを持って行きましょう。

ロープ1本、風呂敷1枚あると便利

避難時には、ロープの1本でもあると便利です。子どものおんぶ紐にすることもできるし、荷物をまとめるのにも使えます。風呂敷も、荷造りだけでなく、止血に使ったり、腕をケガしたときに三角巾にもできて、役に立ちますよ。昔から使っているものは、さまざまな利用価値があります。防災の必需品として、ぜひ持ち出してほしいです。

緊急時安心キットを常備

私の地区では、「緊急時安心キット」を冷蔵庫に備えてくださいとお願いしています。もしものときに必要な医療情報や連絡先を専用のボトルに入れ、冷蔵庫内においておけば、傷病者の正確な情報を素早く把握できます。65歳以上の高齢者や障害・難病・持病のある人を対象に、区役所や保健所、消防署などで無料で配付しています。

各区情報公開コーナーでハザードマップや防災ガイドブックを配布しています

日々の暮らしに防災の意識を！

今こそ確認！避難の基本

新型コロナウイルスが蔓延（まん）する今でも災害が起こるかもしれません。
災害への救援体制が充実していても、いざという時に自分の身を守れるのは、やはり自分。
昨年秋に甚大な被害を起こした台風などを思い出し、風水害への対策について学びましょう。

Q 警戒レベルが出たら、どう行動すればいいの？

集中豪雨や台風などによって、災害が発生するおそれがあるとき、どのように行動すれば良いか分からなかったという方も多いのではないでしょうか。災害発生時の危険度と取るべき行動の目安となる5段階の「警戒レベル」を知っておきましょう。

警戒レベル5
既に災害が発生しています
命を守るための最善の行動をとりましょう
災害発生情報

警戒レベル4
全員速やかに避難しましょう
浸水想定区域外への移動が危険な場合は、近隣や自宅内の安全な場所に避難しましょう
避難勧告・避難指示（緊急）

警戒レベル3
避難に時間を要する人（ご高齢の方・障害のある方・乳幼児等）**とその支援者は避難しましょう**
その他の人は、避難の準備を整えましょう
避難準備・高齢者等避難開始

警戒レベル2
避難に備え、ハザードマップなどにより、**避難行動を確認**しましょう
洪水注意報・大雨注意報等

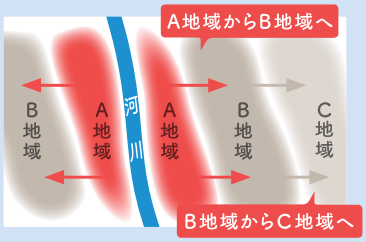
警戒レベル1
災害への心構えを高めましょう
早期注意情報

Q 避難場所に向かうとき何を持っていけばいいの？

食料や日用品などは、家族で手分けして持てるようにしておきましょう。身分証明書や保険証、現金などの貴重品類は持ち出しやすいよう、保管場所をまとめておくと便利です。携帯電話の充電器やラジオ、衛生面で清潔に保つための着替え、ウェットティッシュ、携帯トイレなどもあると良いです。季節によっては暑さ・寒さ対策も必要です。

Q どこに避難すればいいの？

風水害発生時に使用できる避難場所は地震の時と異なります。市ホームページや、洪水ハザードマップなどでご確認ください。また、避難場所への避難だけとは限りません。新型コロナウイルスが蔓延している状況では、安全な場所にある親戚・知人宅などへの避難も検討してください。



風水害発生時は広域避難を！

風水害の避難は河川から離れる必要があるため、地震発生時とは異なる避難場所に避難することがあります。多くの市民が避難できるよう、広域避難となり、河川から離れた場所に住んでいても、約3kmの避難を行うこともありますのでご注意ください。

昨年の災害を忘れない

県内で大きな被害をもたらしている気象災害のトップ3は、大雨・雷・ひょうによる被害で、全体の70％近くを占めています（『埼玉県の気象百年』1996年）。**その中でも、最も甚大な被害をもたらす災害は大雨であり、その大半は台風による風水害です。昨年の令和元年東日本台風**（台風第19号）**により被災した地域では、今も復旧作業が続いています。**

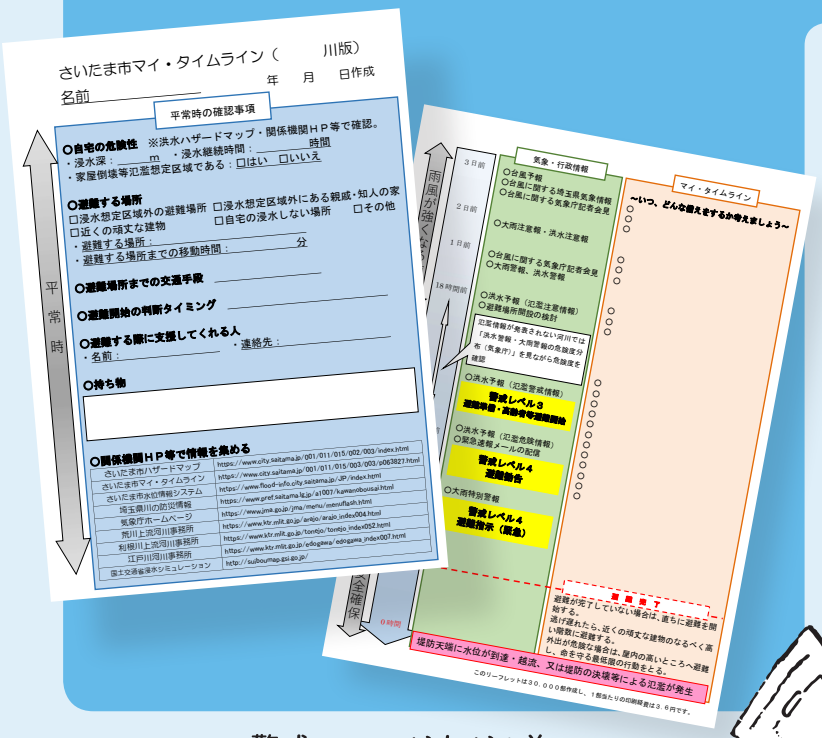
▲令和元年東日本台風（台風第19号）の被害状況

市のホームページで防災情報をチェック

さいたまの風水害 もしも危険が迫ったら？

まず、何が起きているのかを公共の情報で確認してください。
一刻を争うようなときでも周囲の状況を確認し、落ち着いて行動することが大切です。

マイ・タイムラインを活用しよう



自分自身の防災行動計画（タイムライン）を立てて、命を守ろう！逃げ遅れゼロへ！

マイ・タイムラインは、市民一人ひとりが風水害発生時や発生前に、自分自身がとるべき防災行動を時系列に整理する取り組みです。「逃げ遅れゼロ」を目的として、ぜひ各世帯で取り組んでください。左のような記入式のタイムラインシートを市ホームページからダウンロードすることができます。

マイ・タイムラインでできること

・風水害発生の１日程度前にやるべきことが分かる！
・発生の半日前～３時間前にやるべきことが分かる！
・身を守るためにやるべきことが分かる！

さいたま市 マイ・タイムライン

警戒レベルが上がる前に

避難情報を常に確認する　ハザードマップ等で避難行動を確認　災害への心構えを高める

Q ハザードマップってみたことある？

避難場所までの道が被災により通れないことも。もしもの時、慌てないように、自宅や職場から最寄りの避難場所まで安全な避難ルートを考えながら、実際にハザードマップを持って歩いてみましょう。

さいたま市　ハザードマップ

いざというときの為に家庭でも備蓄をはじめてみましょう

今月の表紙

Q 情報収集の方法は？

発災直後は混乱をあおるような不確かな情報が広まることがあります。災害に関する情報は発信元（引用元）が公共性の高い信頼できる情報か、最新の情報であるかを確認することが必要です。

防災行政無線の放送内容は以下の方法でも確認できます

メール　・さいたま市防災行政無線メール
✉t-bosai-saitama@sg-m.jpに空メールを送り、返信されたメールに記載されている手順に従って登録してください。

テレビ　・地デジ：3チャンネル【テレビ埼玉】
リモコンのdボタンを押して「さいたま市からのお知らせ」を選択。

災害時には以下のメディアでも情報を収集できます

ラジオ　・コミュニティ FM：78.3メガヘルツ【CityFM さいたま】
・FM：79.5メガヘルツ【エフエムナックファイブ】

WEB　・さいたま市ホームページ
・Yahoo!防災速報

市報さいたまの感想を「# 市報さいたま」をつけて Twitter で投稿してください！
市ホームページやはがき（〒330-9588 浦和区常盤 6-4-4 広報課）でもお待ちしています。